

シリーズ 草津の未来の交通を考える！  
～誰でもが自由に快適に移動でき、健やかで幸せに暮らせる社会をつくるため  
に、それぞれができること～

第5回アーバンデザインスクール

# ワークショップ

平成29年10月14日

1

UDCBK

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業

## アーバンデザインスクールの進め方

- ▶ 10 : 30 今までの簡単なまとめ
- ▶ 10 : 40 ワークショップ

草津の未来の交通について考える

～誰もが自由に快適に移動でき、健やかで幸せに暮らせる社会をつくるために、  
それぞれができること～

- ▶ 11 : 45 発表 (4グループ×3分)
- ▶ 12 : 05 講評
- ▶ 12 : 10 修了式と記念写真

\* アンケート記入等

# 草津の未来の交通について考える

誰でもが自由に快適に移動でき、健やかで幸せに暮らせる社会をつくるために、それぞれができること

第1  
回

未来の交通を考えるために知っておきたいこと

6月28日(水)  
18:30~20:00  
市民交流プラザ  
中会議室

塚口博司氏  
立命館大学理工学  
部  
特任教授

第2  
回

欧州諸都市の経験に学ぶ“誰でもが安全に歩いて暮らせるまちづくり”  
(人中心のまちづくり)

7月12日(水)  
18:30~20:00  
市民交流プラザ  
中会議室

岡井有佳氏  
立命館大学  
理工学部准教授

第3  
回

活動空  
間

空間内移動  
(徒歩・自転車中心)

まちなかの渋滞や交通事故のリスク  
を減らすまちづくり  
(気まぐれな私的交通を調整する)

8月25日(金)  
18:30~20:00  
UDCBK新拠点

小川圭一氏  
立命館大学  
理工学部教授

第4  
回

空間間(域内)移動  
(公共交通中心)

誰でもが自由に快適に移動できる  
まちづくり  
(あらためて公共交通を考え  
る)

9月2日(土)  
10:30~12:00  
UDCBK新拠点

近藤宏一氏  
立命館大学  
経営学部教授

活動空  
間

第5  
回

ワークショップ  
草津の未来の交通を考える

10月14日(土)  
10:30~12:15  
UDCBK新拠点

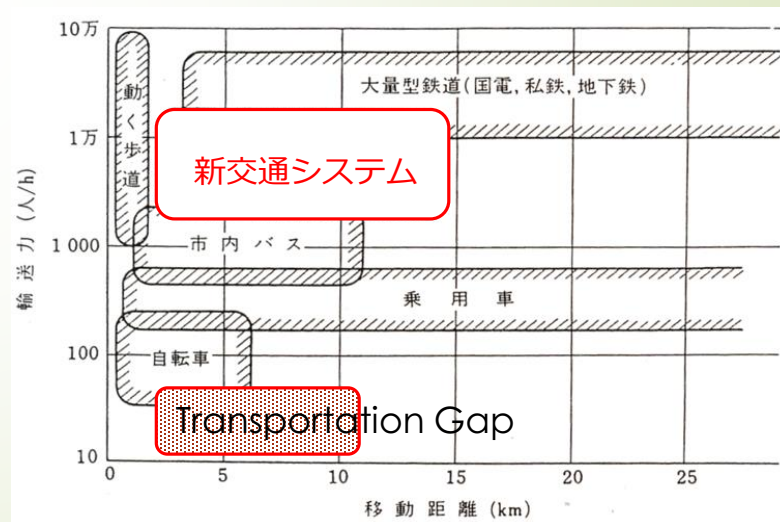
塩見康博氏  
立命館大学  
理工学部准教授

## 未来の交通を考えるために知っておきたいこと

- 交通は派生行為であるから、社会の動きに伴って変化する
- 時間空間制約を緩和する方向に交通技術者は努力してきた
- 今後のITを中心とした技術革新によって、交通はさらに変革を迫られる
- 交通手段には、得意とする領域と得意でない領域が存在するから、Transportation Gapが存在する。
- 従来のTransportation Gapは技術革新によって克服されてきたが、新たなTransportation Gapは技術の問題ではなく、社会制度や政策理念に関するものである



立命館大学工学部  
特任教授  
塚口 博司 氏



# 誰もが安全に歩いて暮らせるまちづくり ～フランスの都市の経験に学ぶ～

- 車中心から人間中心の都市空間づくりへの転換
  - 中心市街地のLRTとトランジット・モールの導入
  - 中心市街地へのアクセスは車利用
  - 都心の河川敷を道路から遊歩道にするなどを実施
- LRT導入は市長によるトップダウン
  - 客が減ると中心市街地の商店主の反対があったがLRTを導入
  - 導入後は客が増え、反対していた商店主も賛成に
- 事前協議（コンセルタシオン）
  - 事業について「知らない」、「聞いていない」という人を無くす徹底した情報公開
  - 合意形成ではなく、ワークショップ等により市民との対話を重視
  - 説明会の回数やパンフレットの配布場所なども規定



立命館大学理工学部  
准教授 岡井 有佳 氏

## まちなかの渋滞や交通事故のリスクを減らすまちづくり (気まぐれな私的交通を調整する)

- ▶ 学生による草津市の状況を踏まえた調査を実施
- ▶ 草津市の自転車促進のターゲット
  - ▶ 自転車単独利用 約500～約3キロ
  - ▶ 駅まで自転車を利用する鉄道との組み合わせ 約2～5キロ
- ▶ 自動車の利用を減らして徒歩や自転車にするにはどうしたら良いか？
- ▶ 住宅地内の通過交通（抜け道）を減らすにはどうしたら良いか？
- ▶ いろいろな交通手段（徒歩、自転車、バイク、自動車、私的交通だけでなく公共交通も）が共存していくためにはどうしたら良いか？
- ▶ 他人の行動をコントロールすることはできなくても、仕向けて行くことはできるかも. . . ?



立命館大学理工学部  
教授 小川 圭一 氏



## 誰もが自由に快適に移動できるまちづくり (あらためて公共交通を考える)

- 上下分離、ささえあい交通、シェアライド等の新たな取り組みの紹介
- クロスセクター・ベネフィット
  - 公共交通活性化の効果が他行政分野にもまたがること
  - 特に、従来の「経済効果」ではなく、他分野での費用の削減・増加抑制に焦点をあて、公共交通整備の必要性・効果を検討する考え方
- 交通権
  - 「人には交通する権利がある」「交通は基本的人権である」という考え方
- ラストワンマイル
  - 出発地から公共交通機関の乗り場まで、公共交通機関を降りてから目的地までの交通手段



立命館大学経営学部  
教授 近藤 宏一 氏

## ワークショップのテーマ

# 草津の未来の交通を考える！

～誰もが自由に快適に移動でき、健やかで幸せに暮らせる社会をつくるために、それぞれができること～

ファシリテーター 塩見康博氏（立命館大学理工学部准教授）



# ワークショップの進め方

1. 10 : 40 自己紹介 (1人×1分)
2. 10 : 45 ディスカッション1  
誰でもが自由に快適に移動できる社会、あるいは暮らしのイメージ
3. 11 : 05 ディスカッション2  
健やかで幸せに暮らせる社会、あるいは暮らしのイメージ
4. 11 : 25 ディスカッション3  
イメージした社会や暮らしを実現するためにそれぞれができること
5. 11 : 45 発表
6. 12 : 05 講評

# ディスカッションのやりかた

- ▶ 自分にとって、「誰でもが自由に快適に移動でき、健やかで幸せに暮らせる社会」とはどんな生活や活動ができる社会なのでしょう？
- ▶ 自由に快適に移動できるとすれば、何ができますか？
- ▶ そのような1日の生活はどんな生活になりますか？
- ▶ 健やかで幸せな生活ってどんな生活ですか？
- ▶ これらが実現した社会って、どんな感じですか？
  - ▶ 道で会う人々が気軽に挨拶しているまち
  - ▶ 子どもが外で遊んでいても交通事故の心配をしなくていいまち
- ▶ これらが実現するために、あなたやあなたの会社や組織ができることはなんですか？

## ワークショップの心得4箇条♪

### ♪ 「ニコニコ参加」

絶えずニコニコして前向な姿勢で参加しよう！

### ♪ 「フムフム傾聴」

人の話は、口を挟まず最後までちゃんと聴こう！

### ♪ 「サクサク発言」

自分の発言は、要点をまとめて手短かに話そう！

### ♪ 「ドンドン思考」

思考回路をフルに回転させて常に考えよう！

# 修了式

平成29年度 アーバンデザインスクール前期課程

5回のうち、3回以上参加された方が対象です。